

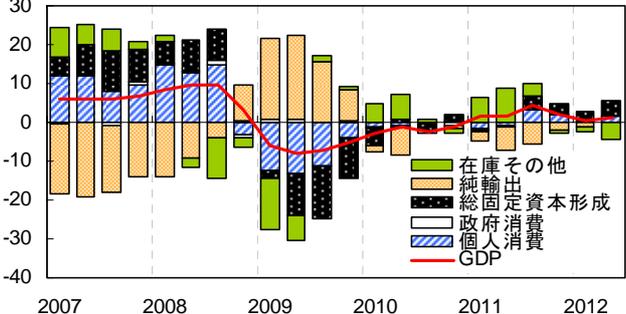
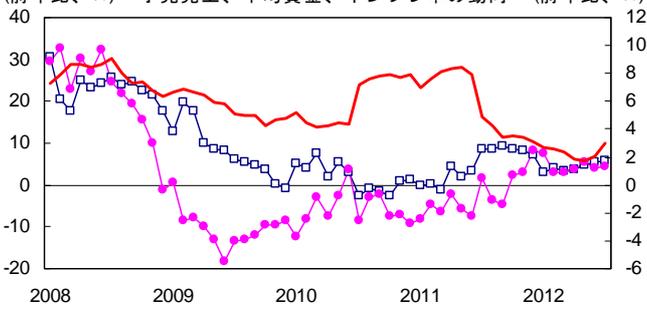
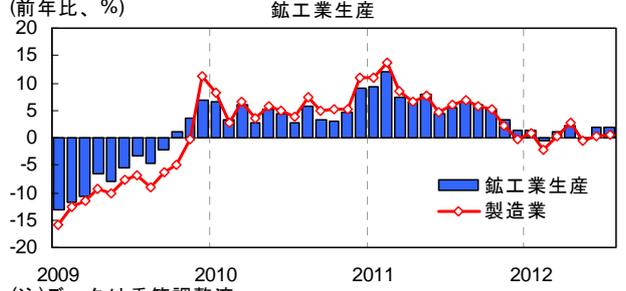
ルーマニア経済・金融概況

Main Economic & Financial Indicators (Romania)

経済調査室

Economic Research Office

(照会先：三野はるか haruka.mino@uk.mufg.jp)

概況	消費、物価
<p>ルーマニア経済は、個人消費の伸びに支えられ、緩やかに持ち直している。第 2 四半期の実質 GDP 成長率は前年同期比 1.2%と、前期の同 0.3%から回復した。需要項目別では、個人消費が同+1.4%と、前期の同+0.3%から加速した。また、総固定資本形成も、同 15.2%と高い伸びを示した。財・サービス輸出は、前期の同▲2.2%から同 0.7%と、財輸出のマイナス幅が縮小するとともに、サービス輸出が増加した結果、全体ではプラスの伸びに転じた。</p> <p>7 月には、バセスク大統領が職務権限を越えて財政緊縮策を進めたなどとして、首相との対立が生じ、大統領の罷免を求める国民投票が実施されたものの、投票率が 50%を下回ったため、不成立となった。しかし、国内政治の混迷は続いており、今後国外への資金流出が進む懸念が強まっている。</p> <p>(前年比、%) 実質GDP成長率と需要項目別寄与度</p>  <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>消費： 7 月の小売売上は前年同月比+4.4%と、前月の同+4.0%から堅調に推移した。財政緊縮策の一環として 2010 年から一律 25%削減されていた公務員賃金が、6 月から段階的に引き上げられるなど、財政緩和の傾向が示される中、足元、賃金伸び率は上昇しており、これが個人消費を下支えている。</p> <p>物価： 8 月の消費者物価上昇率は、前年同月比 3.9%となり、前月の同 3.0%から加速した。干ばつの影響により、生鮮食品などの食料品価格が上昇したことなどが背景にある。また、今年 7 月 1 日からタバコに対する VAT 税率が引き上げられるなど、供給サイドからのインフレ圧力は若干強まっている。加えて、11 月の総選挙後、政府は IMF の要請に応じ、エネルギー・ガス市場の自由化を迫られ、それに伴い料金が引き上げられる可能性が残っている。</p> <p>(前年比、%) 小売売上、平均賃金、インフレ率の動向 (前年比、%)</p>  <p>(資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>
<p>生産、貿易</p> <p>7 月の鉱工業生産（季節・稼働日調整済み）は前年同月比 +1.9%と、前月からほぼ横ばい。部門別では、電気・ガス部門と鉱業がそれぞれ同+9.6%、同+5.5%と大幅な伸びを示した。一方、製造業は、主要輸出相手国である EU の長引く景気悪化を受けて、同+0.6%にとどまった。7 月の製造業景況感は、緩やかな改善方向を示し、今後 3 カ月間の生産についても、比較的安定推移をする見通しが示された。但し、国際収支ベースの輸出の動向をみると、6 月以降の伸び率がほぼ横ばいで推移するなど、基調は弱く、今後、鉱工業生産の勢いがさらに弱まる可能性を示唆している。</p> <p>(前年比、%) 鉱工業生産</p>  <p>(注)データは季節調整済 (資料)FactSetより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成</p>	<p>政権の不安定性により強まるレイの下落圧力</p> <p>ルーマニアでは、7 月に入りレイが歴史的な下落を記録し、7 月 24 日にはユーロ、ドルに対して、それぞれ 1 ユロ = 4.63 レイ、1 ドル = 3.84 レイまで値を落とした。この背景には、バセスク大統領とポント首相が財政緊縮策を巡って対立し、同大統領の罷免を求めて国民投票が実施されるなど、国内政治の混乱がある。ポント首相側は、7 月末の国民投票実施に先立って、従来より成立基準を緩くした国民投票法を成立させ、大統領罷免の可能性を高めた。憲法裁もこの法律を合憲と判断した。これを受けて、今年の 7 月末に実施された IMF による第 6 回定期査察では、ルーマニアの政治的混乱が経済の下振れリスクの要因であると指摘された。また欧州委員会は、法の支配と司法の独立性および憲法裁判所の役割に関して懸念を示した。ドイツのメルケル首相も、法の支配は EU メンバーにとって基本的原則であるとし、それに反することへの遺憾の意を示した。EU 諸国の懸念の現れとして、9 月 19 日に開催予定であったシェンゲン協定の締結に向けた話し合いが棚上げされるなど、国内政治混乱の波及が懸念される。ルーマニアは恒常的な経常赤字を抱え、国外からのファイナンスを必要とするものの、同国の政治的混乱とそれを巡る一連の動向は、投資家のリスク回避選好を高め、今後、資金流出が進むことが懸念される。レイは 8 月に一旦値を戻していたものの、9 月に入り、ユーロに対して再び下落傾向となっている。11 月に予定されている総選挙を前に、現状の政治情勢が解決することは期待できず、政治的混乱によるレイの下落圧力は依然として残る。</p>
<p>国際収支</p> <p>第 2 四半期の経常赤字は▲24 億ドルとなり、前年同期の▲35.3 億ドルから縮小した。主要輸出先である欧州経済の低迷を受け、輸出が前年同期比▲8.9%とマイナスの伸びを示した一方で、輸入も同▲10.9%とマイナス幅が拡大した。その結果、貿易赤字が前年同期の▲36.1 億ドルから▲29.1 億ドルに縮小した。ただし、資本収支は前年同期の 2.5 億ドルから▲9.5 億ドルと、流出に転じた。</p>	

ルーマニア経済・金融概況

1. 年、四半期

	2009	2010	2011	11/Q2	11/Q3	11/Q4	12/Q1	12/Q2
名目GDP実額 (10億米ドル)	164.4	164.2	189.3	45.4	52.7	57.1	33.0	40.3
実質GDP成長率 (y/y, %)	-6.6	-1.6	2.5	1.4	4.4	1.9	0.3	1.2
(民間消費支出) (y/y, %)	-9.8	-0.3	1.0	-1.0	3.1	1.8	0.3	1.4
(総固定資本形成) (y/y, %)	-28.1	-2.1	6.2	-1.4	11.4	10.3	12.2	15.2
鉱工業生産 (季節調整済) (y/y, %)	-4.7	4.7	6.2	6.3	6.1	3.2	0.7	1.3
小売売上 (季節調整済) (y/y, %)	-10.3	-5.7	-2.4	-5.1	-2.2	4.5	4.5	4.4
消費者物価上昇率 (y/y, %)	5.6	6.1	5.8	8.2	4.2	3.4	2.6	1.9
失業率 (%)	6.3	7.6	5.4	5.1	4.9	5.0	5.2	4.6
平均賃金上昇率* (y/y, %)	7.7	1.8	4.9	3.3	8.8	8.0	3.5	4.7
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	0.9	4.7	6.6	1.3	6.5	6.6	10.0	6.3
貿易収支 (百万米ドル)	-9,575	-10,034	-10,509	-3,610	-2,575	-2,957	-1,571	-2,906
輸出額 (百万米ドル)	40,543	49,412	62,632	15,864	16,156	15,532	14,490	14,452
輸出伸び率 (y/y, %)	-18.1	21.9	26.8	34.3	28.7	9.6	-4.3	-8.9
輸入額 (百万米ドル)	50,118	59,446	73,141	19,475	18,731	18,489	16,061	17,358
輸入伸び率 (y/y, %)	-35.4	18.6	23.0	32.3	27.6	9.3	-2.8	-10.9
経常収支 (百万米ドル)	-6,834	-7,305	-8,337	-3,526	-2,315	-1,262	-709	-2,397
資本収支 (百万米ドル)	6,615	2,967	6,034	245	3,241	1,600	-1,949	-947
対内直接投資 (百万米ドル)	4,852	2,937	2,670	639	857	506	345	413
外貨準備高 (百万米ドル)	40,757	43,361	42,939	49,782	45,470	42,939	46,193	41,473
対外債務残高 (百万米ドル)	116,509	124,037	127,770	142,447	132,646	127,770	131,455	125,686
株価指数	3,533.8	5,232.1	5,178.6	5,702.0	4,879.7	4,401.4	4,934.0	4,880.6
政策金利**	8.00	6.25	6.00	6.25	6.25	6.00	5.25	5.25
短期金利 (interbank 3m) (平均値)	11.72	6.75	5.82	5.57	5.75	6.25	5.00	4.89
Leu/USD	3.0481	3.1821	3.0494	2.8736	3.0185	3.2214	3.3221	3.4541
Leu/Euro	4.2379	4.2116	4.2387	4.1357	4.2598	4.3379	4.3542	4.4282
Leu/GBP	4.7582	4.9135	4.8864	4.6855	4.8563	5.0624	5.2184	5.4639

2. 月次

	12/01	2	3	4	5	6	7	8
鉱工業生産 (季節調整済) (y/y, %)	1.5	-0.6	1.2	2.3	-0.2	1.8	1.9	-
小売売上 (季節調整済) (y/y, %)	7.4	3.0	3.1	3.7	5.6	4.0	4.4	-
消費者物価上昇率 (y/y, %)	2.7	2.6	2.4	1.8	1.8	2.0	3.0	3.9
失業率 (%)	3.0	4.1	3.3	4.7	4.6	4.5	4.8	-
平均賃金上昇率* (y/y, %)	3.0	4.1	3.3	3.7	4.9	5.4	5.8	-
銀行貸出伸び率 (y/y, %)	7.1	7.6	10.0	9.8	9.4	6.3	7.2	-
貿易収支 (百万米ドル)	-415	-475	-751	-987	-1,103	-1,011	-776	-
輸出額 (百万米ドル)	4,768	4,821	5,560	4,829	5,481	5,111	5,143	-
輸出伸び率 (y/y, %)	3.0	0.6	-0.5	4.1	4.7	0.0	0.1	-
輸入額 (百万米ドル)	5,183	5,296	6,312	5,816	6,584	6,121	5,920	-
輸入伸び率 (y/y, %)	10.0	3.2	-3.1	1.3	0.1	0.7	1.8	-
株価指数	4,469.8	5,080.1	5,258.9	5,290.1	4,907.6	4,441.4	4,627.6	4,780.3
政策金利** (期末値)	5.75	5.50	5.25	5.25	5.25	5.25	5.25	5.25
短期金利 (interbank 3m) (平均値)	5.51	5.04	4.50	4.37	4.94	5.35	5.35	5.76
Leu/USD	3.3687	3.2884	3.3076	3.3277	3.4733	3.5596	3.7081	3.6410
Leu/Euro	4.3426	4.3516	4.3682	4.3785	4.4429	4.4618	4.5553	4.5162
Leu/GBP	5.2247	5.1962	5.2332	5.3234	5.5263	5.5360	5.7801	5.7237

(注) 貿易の値は国際収支ベース、賃金上昇率は実質、政策金利は2週間物中銀預かり金利

(資料) ルーマニア中央銀行、ルーマニア統計局、Eurostat、IMF

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身で判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。